

秋田市教育委員会 会 議 録

平成 2 4 年 5 月定例会

秋田市教育委員会平成24年5月定例会会議録

1 日 時 平成24年5月24日(木)
午後3時30分～午後5時45分

2 場 所 教育委員会室

3 出席委員 委員長
教育委員
教育委員
教育委員
教育委員(教育長)

(欠席委員なし)

4 出席職員 教育次長
教育次長
総務課長
総務課参事
学事課長
学校教育課長
学校教育課教職員室長
教育研究所長
文化振興室長
文化振興室参事
秋田城跡調査事務所長
スポーツ振興課長
生涯学習室長
生涯学習室参事
中央図書館明德館事務長
総務課長補佐
総務課副参事
学校教育課長補佐
土崎図書館副参事
新屋図書館副参事
総務課主席主査
学校教育課主席主査
教職員室主席主査
総務課主査
総務課主査
学校教育課主査
総務課主事

5 議 題

【付議案件】

議案第16号 秋田市子ども読書活動推進計画を策定する件

【協議事項】

- (1) 平成24年6月補正予算(案)に関する件
- (2) 秋田市文化施設における共通観覧券の発行に関する条例を設定する件
- (3) 短大の4年制大学化に伴う高等学院のあり方について
- (4) 高等学校等教育の充実について
- (5) 平成24年度秋田市教育委員学校訪問について
- (6) 平成24年度「新成人のつどい」の実施方針について

【教育長等の報告】

- (1) 平成24年度教育委員会事務の点検・評価について
- (2) 次期秋田市教育ビジョンの策定について
- (3) 学校給食用食材の放射性物質検査について

6 議 事 午後3時30分開会

【平成24年4月臨時会会議録の承認】

平成24年4月臨時会会議録について、異議がないため承認された。

【会議録署名委員の指名】

委員長が今回会議録の署名委員として委員2名を指名した。

【付議案件】

議案第16号 秋田市子ども読書活動推進計画を策定する件

生涯学習室参事 この計画は、平成24年3月の教育委員会定例会において素案を説明し、市民からのパブリックコメントを集める旨を報告したものである。その際、期間として想定し

ていた1週間では短すぎるとの指摘があったので、3月21日から4月10日までの3週間、パブリックコメントを募集した。

(以降、資料に基づき説明)

委員

積極的に公募を行った結果これだけの意見が出て、それが反映されているのは良いことである。これからも、意見が必要であれば、ある程度の期間を区切って実施してほしい。

ブックスタートについては検討となっているが、5年後に予算上できないとなることは望ましくない。計画の優先順位はあると思うが、実現に向けて取り組んでほしい。

委員

パブリックコメントの期間延長は良かったと思う。積極的に団体に意見を求め、高校へも働きかけることができて良かった。それらが網羅されよりよい計画になった。

ただし、ブックスタートが検討で終わっている点が引っかかる。良くまとまっているので、余計に気になる。

委員

パブリックコメントで表現の修正について意見がある。内容以前の指摘があるのはいかななものかと思うので、案として意見を求める前段階でもう少し校正をした方が良い。

委員長

赤ちゃんタイムについて、周りに受け入れられる場合とそうでない場合があるので、周知が大事であると思う。また、平日は静かに読書している人が多いので、休日など父親と一緒にいける日に設定するのが良いのではないか。図書館の長期利用者を大事にしつつ、新しい利用者を増やすようにしてほしい。

議案第16号については、全員賛成により議決した。

【協議事項】

【非公開の議決】

委員長 協議事項(1)「平成24年6月補正予算(案)に関する件」、協議事項(2)「秋田市文化施設における共通観覧券の発行に関する条例を設定する件」は議会に提出され審議される案件である。また、協議事項(3)「短大の4年制大学化に伴う高等学院のあり方について」は、今後、市長や議会などの関係機関と調整しながら決定していく事項が含まれると事務局から聞いている。

いずれも現段階で公開の場で審議した場合、事務局の説明や、出席者の発言が制約されることにより、十分な審議ができなくなるおそれがあるので、秘密会として取り扱うこととし、日程の最後に審議したいがどうか。

以上の発議があり、全員賛成により議決した。

(4) 高等学校等教育の充実について

委員長 協議事項(4)について事務局から説明願う。

学校教育課長 協議事項(4) 高等学校等教育の充実についてであるが、秋田商業高校関係「平成24年度高校教育の充実に向けた有識者会議について」と、御所野学院関係「中高一貫教育のさらなる充実を目指して」を分けて説明し、それぞれ協議していただきたいと思う。

(以降、秋田商業高校関係について資料に基づき説明)

委員 有識者会議の内容は、「カリキュラムの充実の方向性」に特化して行うのか。例えば、定員について、ビジネススクールとしての学校組織のあり方についてなど、踏み込んだ議論もするのか。

学校教育課長 会議内容は、キャリア教育、ビジネス実践、授業改善等も含まれており、商業高校として求められる教育の中身に

については当然話の中に入ってくると思う。ただし、定員に関しては県教育委員会と調整していないので、現段階では難しい。

委員 県内唯一の商業専門校として充実させたいので、実のあるものとしてほしい。

委員長 秋田商業高校の卒業生で、年齢の若い方の話を聞く機会があれば良いと思う。IT関係等でも新しい手法で活躍している人材が秋田に多くいる。商業高校で勉強したことがどう役立ったか、こう変えてはどうかという具体的な話がすぐ出てくると思う。委員というより、ゲストスピーカーとしてでも参加が可能であれば検討してほしい。

委員 現在、学生は進学志向となっている。そのことへの対応だけが際立つカリキュラムにならないようにしてほしい。

学校教育課長 秋田商業高校の特色を生かしたカリキュラムとしたい。

学校教育課長 (御所野学院関係について資料に基づき説明)

委員 資料4ページの、中学校3年生の大学訪問は、将来を見据えて大学を見学するというものか。

学校教育課長 そのとおりである。

委員 想定している大学はどこか。

学校教育課長 国際教養大学等、地元の大学を想定している。

委員 中学校1、2年生の職場訪問、職場体験は、どこで行うのか。

学校教育課長 市内の商店や会社で、仕事内容を見学し、何日間か体験をさせてもらうものである。

委員 中学校2年生の研究旅行とはどのようなものか。

学校教育課長 別々の場所に分かれて行くのではなく、中学校1年生から学んできた「郷土学」などを生かしたり、学べるように踏み込んだものである。また、行き先は県外である。

委員 「表現科」の3分野で開設する講座は、最初から設定されているものか。それとも生徒が集まってからその興味・

関心により設定するのか。

学校教育課長 はじめは学校が設定するが、学習を進める中で、弾力的に生徒の興味・関心を捉えながら講座を設定する。

委員 どのような内容が、これまでよりも「充実」しているのか。

学校教育課長 これまでと同様の講座を開設し、外部指導者との関係をさらに深め、内容の充実を図る。現段階では講座を抜本的に変えるということではない。同じ中国語や韓国語の講座であっても、生徒の状況に対応した内容になる。内容に深まりが出るよう、外部指導者と協議して進めたい。

委員 資料の文章では「生徒が興味・関心により選択できる様々な講座を開設し」とあるが、表現の仕方を変えた方がよいのではないか。

委員 特徴が見えるようになれば良いと思う。

学校教育課長 10年間で成果を上げているので、それを踏まえて充実させたい。また、表現については改めたい。

委員 開校10年に際しての見直しということだが、これはある程度計画目標があるのか。それとも開校15年、20年でその都度見直すのか。

また、御所野小学校を卒業した子どもが地元中学校に進学しない場合について、将来的な目標があれば教えてほしい。

学校教育課長 見直しの期間については、平成25年入学の生徒は6年経たないと卒業しない。結果を見るには10年は必要であると考ええる。

また、御所野小学校卒業生の学区設定は、開校の経緯を踏まえつつ、現状維持がベターだと考える。

委員長 あれもこれも充実させるという印象を受けた。週あたりの授業、表現科など、子どもたちの負担が大きくなる気がする。特に授業の先取りは、理解してからでない置いてきぼりになる。私立の中高一貫校であれば、高校2年で3

年の授業内容を終え、大学受験のために先取りをする。御所野学院の場合は、どのような目標や意味があるのか。また、どの程度の先取りを行うのか。

学校教育課長 中高一貫校は、中学校と高校の授業内容を弾力的に取り入れられるのが最大のメリットである。それにより、時間的な余裕を生み出すことができる。御所野学院の場合は、中学1年からキャリア教育により自分の将来の夢を見つけていく。高校3年でその実現のために時間を活用できることが目的である。先取りを行うが、一般の学校より短い時間で行うものではなく、必要な時数は配慮する。

先取りの内容としては、英語は中学2年で中学3年の内容も行う。数学は、中学3年で高校1年の数学の内容が入る。私立の中高一貫校のように、最後の1年間を受験にあてるための先取りではない。十分、生徒の状況を見ながら行う。

教育次長 例えば、英語は中学1年で140時間が標準授業時数であるが、御所野学院はプラス35時間とし、年間175時間授業を行う。そのプラス35時間分で2年生の内容を扱うので、他の学校と比べ詰め込み教育になるというものではない。

また、中高一貫校の良さは、中学3年の内容を高校1年で学び直すなどの重複部分がないことである。御所野学院高校は、他校と比べて生徒の学力差があると思うが、少人数であり、一人一人を大事にした丁寧な指導がなされると思う。

委員長 親の立場からすると、今までのイメージをアップするだけでなく、学校としての将来の理想を小学校6年生の保護者に早めに周知させてほしい。

学校教育課長 7月中に案内をし、説明を行ったうえで、8月25日の学校公開日で実際に見てもらうという流れにしていきたい。

協議事項(4)については、以上のとおり終了した。

(5) 平成24年度秋田市教育委員学校訪問について

- 委員長 協議事項(5)について事務局から説明願う。
- 教職員室長 今年度の秋田市教育委員学校訪問について説明する。
(以降、資料に基づき説明)
- 委員 学校訪問日程(案)の10月25日は第4木曜日であり、教育委員会10月定例会の予定日と重なっている。学校訪問は午前で終了のようだが、可能であれば時間調整を行ってほしい。
- 教職員室長 調整を図ってみる。
- 委員長 訪問校の中に、以前に訪問したところがある。学校の都合もあると思うが、できれば以前行った学校よりも、まだ一度も行っていない学校に訪問したい。
- 教職員室長 特に委員の希望する学校があれば配慮したい。
- 委員長 訪問時のフリートーキングでは、何も発言しない先生がいる。大人数を集めるのではなく、学校のキーパーソンや新任教師の話を聞けるような人選としてほしいがどうか。
- 教職員室長 学校訪問は、学校に迷惑をかけない範囲の訪問を基本としている。懇談は授業のない先生に来てもらっているが、場合によっては授業を交換し、新任の先生に来てもらうこともできると思うので、学校と調整したい。
- 委員長 先生の人数が非常に多い時があり、満足に話をせずに終わってしまい、困ることがある。
- 教職員室長 なるべく全教職員に教育委員の皆さんに会わせたいという学校の思いから、大人数が参加するものと思われる。
- 委員 学校の先生方からすると、その場にいるだけで良い、教育委員の話を聞きたいという人もいれば、教育委員と話をしたいという人もいる。学校にお任せしたいと考える。

協議事項(5)については、以上のとおり終了した。

(6) 平成24年度「新成人のつどい」の実施方針について

委員長 協議事項(6)について事務局から説明願う。

生涯学習室長 平成24年度「新成人のつどい」の実施方針について説明する。

(以降、資料に基づき説明)

委員長 成人の日の前日である1月13日(日)に行うことを、ホームページで告知しているか。

生涯学習室長 告知している。また、6月に運営委員の募集を行う際にも、広報あきたに掲載する予定である。

委員 23年度のつどいでは、交通渋滞による遅刻者が多く残念に感じた。渋滞について、これまで以上に周知してほしいと思うがどうか。

生涯学習室長 交通渋滞については、例年はがきの案内で周知している。混雑緩和については、まだ生涯学習室内の検討段階だが、リハーサルや警備の状況を考えつつ、これまでより30分開場を早めることを考えている。また、昨年度は近隣の駐車場を増やしたが、会場から遠く利用者が少なかったため、そのPRについて検討している。

委員長 会場までシャトルバスを出してはどうか。

生涯学習室長 公民館等、社会教育施設が所有するバスが6台あるので、例えば市役所の駐車場を利用し運行することも検討している。

委員 つどいでは、新成人の身内が会場まで送る場合が多いので、降りる場所を分散するのは良いと思う。

委員長 公共バスで市役所前まで来て、そこからシャトルバスで市民が利用しない道を通れば、早く会場に到着すると思うがどうか。

生涯学習室長 委員の意見を参考にする。アンケートでは、つどいで公共バスを利用する人は少ないようである。近隣の駐車場を確保し、そこからのシャトルバスとした方が、利用者が多

くなると思われる。それが可能かどうかや、P R方法を含めて検討したい。

協議事項(6)については、以上のとおり終了した。

【教育長等の報告】

(1) 平成24年度教育委員会事務の点検・評価について

総務課長 教育委員会事務の点検・評価の今年度の実施方針について説明する。
(以降、資料に基づき説明)

平成24年度教育委員会事務の点検・評価についての報告は、以上のとおり終了した。

(2) 次期秋田市教育ビジョンの策定について

総務課長 現行の秋田市教育ビジョンの計画期間が平成20年度から24年度までとなっており、今年度は最終年度にあたる。そのため、次期秋田市教育ビジョンを作成することとし、その概要を説明する。
(以降、資料に基づき説明)

委員 資料2ページの検討組織のうち、学校教育関係6名の内訳は予定されているか。

総務課長補佐 検討委員の候補者は、各部門の所管課室で選定する。現行の秋田市教育ビジョンを作成した委員は、小・中学校の校長会、PTA、学識経験者から1～2名ずつという構成である。状況や課題を踏まえ、教育委員会定例会で諮りながら選任をすすめる予定である。

委員 就学前と小学校の連携については、現行のビジョンや、

学校訪問等での実際面には気がかりな点を感じていた。

秋田市としては、子ども未来部の設置により難しい面もあると思うが、行政組織に縛られず、子どもの育ちに視点を置いた就学前と小学校の双方向からの連携を大切にしたい。子どもにとっては小学校入学時が学校教育のスタートではない。幼児期の経験値を適切にとらえ、つなげていくということを、就学前・後の双方の関係者がより一層留意する必要があると思う。

就学までの子どもの経験値を把握できていない人たちでビジョンが作られることのないよう、幼児教育関係者と限定するものではなく、双方からの連携の大切さを経験し、理解している人をメンバーに加えることができれば、さらに良いものができるのではないかと思う。

総務課長 検討委員会のメンバーは、これから各部門の所管課室で候補者を検討するので、委員の意見を参考にし、人選を進めたい。

委員 人数は決定しているのか。

総務課長補佐 これから挙がってくる人で考えたい。

委員 現行のビジョンや国の方針等を加味し、ここが弱いというところについては人数を変える余地を残してほしい。

総務課長 柔軟に対応したい。

次期秋田市教育ビジョンの策定についての報告は、以上のとおり終了した。

(3) 学校給食用食材の放射性物質検査について

学事課長 学校給食用食材の放射性物質検査について説明する。

4月9日から、県の事業の枠組みの中で県教育庁保健体育課に設置された検査機器を使い、基本的に平日に1日3回、3品目ずつ検査し、結果は翌日の午前中に市のホームページ上に公開している。

しかし、既に報道があったが、検査機器に不具合があり、県で検査できない事態となった。4月18日から、民間の検査機関である、秋田県分析化学センターに委託し検査を続けた。その後、県農林部の代替機器を使い検査が可能となり、5月17日からは再び県で検査を行っている。

昨日まで、延べ84品目の食材の検査を行った。食材の選定にあたっては、使用頻度の高いもの、産地の違うものは繰り返し検査するということにも配慮しながら進めている。これまでのところ、問題となるような数値を検出した例はない。今後とも、安全・安心な学校給食の実施のために対策を進めたい。

学校給食用食材の放射性物質検査についての報告は、以上のとおり終了した。

【その他、委員からの質問や意見】

委員 4月17日に、全国学力・学習状況調査が行われたが、秋田市での実施状況はどうであったか。

また、5月21日に金環日食が起こった際、目を痛めた児童はいるのか。

沖縄で、PTA会費の使途を巡って議論があった。秋田市教委として、各学校長へ対応等を行っているのか。

教育研究所長 全国学力・学習状況調査については、小学校は40%にあたる18校、中学校は62.5%にあたる15校が抽出実施校となっている。質問紙等については、児童生徒の勉強に役立てるように、すべての学校に提供し、予定どおりの日程で実施した。今後、各学校では、授業で振り返ったり、保護者を交えた三者面談で返却するなどの対応をする。

学校教育課長 金環日食については、目を痛めたり、事故に遭わないように各校に事前指導をしてもらった。目を痛めたという報

告は受けていない。また、5月19日が運動会であった学校が多く、21日が代休で保護者と一緒に見た児童が多かった。

教職員室長 P T A 会費等学校が扱う私費会計については、年度末に適正に処理されているかどうか調査し、校長から報告を受けており、すべての学校で適正となっていた。教頭会で新聞記事を提示し、このような問題がないか確認することと、校長と相談の上、使い方について改めて見直すよう依頼した。今のところ、適切に使われていると認識している。

委員 保護者からの問い合わせはないか。

教職員室長 今のところはない。

【その他、事務局から】

(1) 秋田県市町村教育委員会連合会の役員改選について

総務課長 (5月22日に総会が開催され、委員長が平成24年度の連合会会長に就任した旨を報告)

(2) 平成24年度東北六県市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会の日程について

総務課長 (今年度の研修会は、7月12日に山形市での開催が予定されている旨を報告)

(3) 6月の教育委員会関連行事予定について

総務課長 (6月の行事予定について、資料に基づき報告)

【その他、今後の日程についての報告】

総務課長補佐 定例会は原則第4木曜日としているが、教育委員会6月

定例会は、6月29日(金)午後4時からを予定している。6月市議会の日程の関係で、このように変更するものである。

委員長 6月定例会は、29日(金)午後4時からとする。

協議事項(1)、(2)、(3)の審議に入る前に、関係職員以外は退席した。

【協議事項】

- (1) 平成24年6月補正予算(案)に関する件
- (2) 秋田市文化施設における共通観覧券の発行に関する条例を設定する件
- (3) 短大の4年制大学化に伴う高等学院のあり方について

(協議事項(1)、(2)、(3)の審議は、秘密会のため、秋田市教育委員会会議規則第23条の規定に基づき、会議録に記載しない。)

午後5時45分閉会

以 上